

## 5 計画の区域と期間

### (1) 計画の区域

御嵩町地域公共交通網形成計画は、町内を運行する公共交通全体の確保・維持・改善を図るとともに、路線再編を一体的に取り扱うことから、計画の区域は御嵩町全域とします。

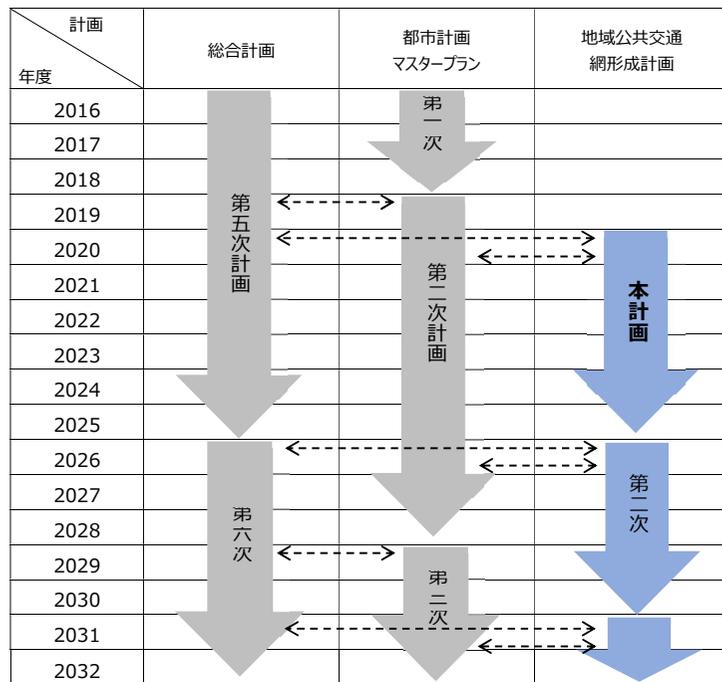
なお、御嵩町・可児市・八百津町の交通圏における連携を強化・充実するため、隣接市町とは個別に協議・調整を図ります。

### (2) 計画の期間

御嵩町地域公共交通網形成計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の基本方針で示される5年程度を原則としつつ、上位・関連計画である第五次御嵩町総合計画および御嵩町都市計画マスタープランの将来都市像や将来都市構造に示すまちづくりの実現を支援するため、これら上位・関連計画と整合した目標年度とする必要があるため、本計画の期間は2020年度から2025年度までの6か年とします。

なお、計画期間内であっても、公共交通の利用に係る安全性の確保や利便性の向上について、個別の見直し事項が発生した場合には、適切な時期に見直しを実施するものとします。

図5-1 地域公共交通網形成計画と上位・関連計画における計画期間の関係（予定）



\*第六次総合計画、第二次都市計画マスタープランおよび第二次地域公共交通網形成計画の計画年度は予定

## 5 計画の区域と期間

### (1) 計画の区域

御嵩町地域公共交通網形成計画は、町内を運行する公共交通全体の確保・維持・改善を図るとともに、路線再編を一体的に取り扱うことから、計画の区域は御嵩町全域とします。

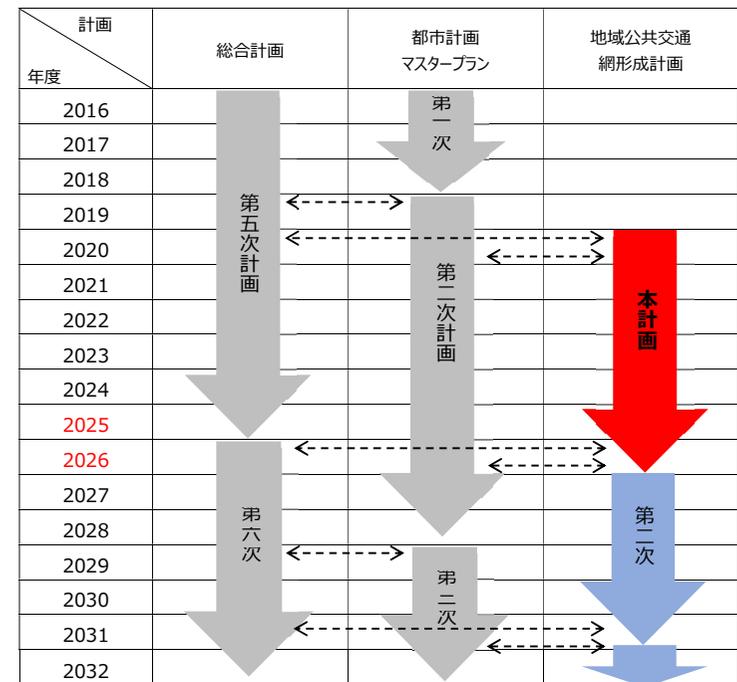
なお、御嵩町・可児市・八百津町の交通圏における連携を強化・充実するため、隣接市町とは個別に協議・調整を図ります。

### (2) 計画の期間

御嵩町地域公共交通網形成計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の基本方針で示される5年程度を原則としつつ、上位・関連計画である第五次御嵩町総合計画および御嵩町都市計画マスタープランの将来都市像や将来都市構造に示すまちづくりの実現を支援するため、これら上位・関連計画と整合した目標年度とする必要があるため、本計画の期間は2020年度から2026年度までの7か年とします。

なお、計画期間内であっても、公共交通の利用に係る安全性の確保や利便性の向上について、個別の見直し事項が発生した場合には、適切な時期に見直しを実施するものとします。

図5-1 地域公共交通網形成計画と上位・関連計画における計画期間の関係（予定）



\*第六次総合計画、第二次都市計画マスタープランおよび第二次地域公共交通網形成計画の計画年度は予定

表 6-1 目標値の設定

基本目標		目標基準値 (2025 年度)	
【基本目標Ⅰ】	<b>【目標】公共交通全体の利用者数の増加</b>	目標値	現況値
	公共交通全体の利用者数 <sup>※1</sup>	3,030 人/日	2,973 人/日
	(交通事業者、御嵩町提供データ)		
	<b>【目標】公共交通の不満割合の減少</b>	目標値	現況値
	公共交通全体の不満割合 <sup>※2</sup>	現況値以下	22.8%
	(町民アンケート)		
	<b>【目標】利用者一人当たりの町支出額の減少</b>	目標値	現況値
	ふれあいバスの利用者一人当たりの町支出額	現況値以下	1,080 円/人
	ふれあい予約バスの利用者一人当たりの町支出額	現況値以下	880 円/人
	(御嵩町提供データ)		
<small>※1：名鉄広見線・ふれあいバス・ふれあい予約バス・YAOバス・可児市さつきバス・一般タクシーの年間利用者合計                  ※2：町民アンケートの公共交通全体の満足度のうち、「不満」と「やや不満」の回答割合の合計</small>			
【基本目標Ⅱ】	<b>【目標】名鉄広見線の利用者数の増加</b>	目標値	現況値
	名鉄広見線の年間利用者数 <sup>※3</sup>	896,100 人	896,043 人
	(交通事業者提供データ)		
	<b>【目標】御嵩町・可児市・八百津町の主要観光施設の観光入込客数の増加</b>	目標値	現況値
中山道みたけ館・花フェスタ記念公園・人道の丘公園の年間観光入込客数	545,900 人	463,694 人	
(岐阜県観光入込客数統計)			
<small>※3：名鉄広見線（新可児駅～御嶽駅間）の年間乗車客数の合計</small>			
【基本目標Ⅲ】	<b>【目標】公共交通の認知度の向上</b>	目標値	現況値
	自宅近くを走るバスの運行経路の認知度 <sup>※4</sup>	現況以上	10.0%
	自宅近くを走るバスで行くことのできる施設の認知度 <sup>※4</sup>	現況以上	12.8%
	自宅近くを走るバスの乗り方の認知度 <sup>※4</sup>	現況以上	13.3%
	(町民アンケート)		
	<b>【目標】公共交通の利用しやすさの不満割合の減少</b>	目標値	現況値
	ダイヤ（時刻表）の不満割合 <sup>※5</sup>	現況以下	30.0%
	運行経路の不満割合 <sup>※5</sup>	現況以下	38.7%
	手持ちの路線図や時刻表の見やすさの不満割合 <sup>※5</sup>	現況以下	41.9%
	(利用者アンケート)		
<b>【目標】関係者が連携・協働した取り組みの増加</b>	目標値	現況値	
関係者が連携・協働した取り組みの件数	現況以上	年間 9 件	
(御嵩町提供データ)			
<small>※4：町民アンケートの項目別認知度                  ※5：利用者アンケートの項目別満足度</small>			

表 6-1 目標値の設定

基本目標		目標基準値 (2026 年度)	
【基本目標Ⅰ】	<b>【目標】公共交通全体の利用者数の増加</b>	目標値	現況値
	公共交通全体の利用者数 <sup>※1</sup>	3,030 人/日	2,973 人/日
	(交通事業者、御嵩町提供データ)		
	<b>【目標】公共交通の不満割合の減少</b>	目標値	現況値
	公共交通全体の不満割合 <sup>※2</sup>	現況値以下	22.8%
	(町民アンケート)		
	<b>【目標】利用者一人当たりの町支出額の減少</b>	目標値	現況値
	ふれあいバスの利用者一人当たりの町支出額	現況値以下	1,080 円/人
	ふれあい予約バスの利用者一人当たりの町支出額	現況値以下	880 円/人
	(御嵩町提供データ)		
<small>※1：名鉄広見線・ふれあいバス・ふれあい予約バス・YAOバス・可児市さつきバス・一般タクシーの年間利用者合計                  ※2：町民アンケートの公共交通全体の満足度のうち、「不満」と「やや不満」の回答割合の合計</small>			
【基本目標Ⅱ】	<b>【目標】名鉄広見線の利用者数の増加</b>	目標値	現況値
	名鉄広見線の年間利用者数 <sup>※3</sup>	896,100 人	896,043 人
	(交通事業者提供データ)		
	<b>【目標】御嵩町・可児市・八百津町の主要観光施設の観光入込客数の増加</b>	目標値	現況値
中山道みたけ館・花フェスタ記念公園・人道の丘公園の年間観光入込客数	545,900 人	463,694 人	
(岐阜県観光入込客数統計)			
<small>※3：名鉄広見線（新可児駅～御嶽駅間）の年間乗車客数の合計</small>			
【基本目標Ⅲ】	<b>【目標】公共交通の認知度の向上</b>	目標値	現況値
	自宅近くを走るバスの運行経路の認知度 <sup>※4</sup>	現況以上	10.0%
	自宅近くを走るバスで行くことのできる施設の認知度 <sup>※4</sup>	現況以上	12.8%
	自宅近くを走るバスの乗り方の認知度 <sup>※4</sup>	現況以上	13.3%
	(町民アンケート)		
	<b>【目標】公共交通の利用しやすさの不満割合の減少</b>	目標値	現況値
	ダイヤ（時刻表）の不満割合 <sup>※5</sup>	現況以下	30.0%
	運行経路の不満割合 <sup>※5</sup>	現況以下	38.7%
	手持ちの路線図や時刻表の見やすさの不満割合 <sup>※5</sup>	現況以下	41.9%
	(利用者アンケート)		
<b>【目標】関係者が連携・協働した取り組みの増加</b>	目標値	現況値	
関係者が連携・協働した取り組みの件数	現況以上	年間 9 件	
(御嵩町提供データ)			
<small>※4：町民アンケートの項目別認知度                  ※5：利用者アンケートの項目別満足度</small>			

表 7-4 利用促進施策として行う具体的な取り組み

実施事業	実施内容	実施年度	実施主体
①利用者にとってわかりやすい交通情報の提供	時刻表・路線図の見直し・作成	新規 2020～2025 年度	御高町・町民・ 交通事業者
	公共交通情報の多言語化	新規 2021～2025 年度	御高町
	バスロケーションシステムの導入 (バス接近情報の提供)	新規 2022～2025 年度	御高町・交通事業者
	わかりやすいバス停名への変更	新規 2020～2025 年度	御高町・町民
	バス運行情報の GTFS 化	新規 2021～2025 年度	御高町・交通事業者
②多様な方法での公共交通情報の周知・広報	公共交通を利用したイベント等の 広報(町 Web サイト・広報など)	継続 2020～2025 年度	御高町・イベント主催者
	各種イベントポスター等への 公共交通情報の掲載	継続 2020～2025 年度	イベント主催者・御高町
	ケーブルテレビやコミュニティ FM での 公共交通情報の発信	新規 2021～2025 年度	御高町・放送事業者
	公共交通の利用状況の発信	継続 2020～2025 年度	御高町
③利用しやすい運賃の 支払い方法	ふれあいバス・ふれあい予約バスにお ける定期券・回数券の発行	継続 2020～2025 年度	御高町・交通事業者
	障がい者の運賃割引制度 (ふれあい予約バス)の継続運用	継続 2020～2025 年度	御高町・交通事業者
④公共交通の利用機 会の創出・増加につ ながる施策の実施	戦国武将のイラスト入り乗車証明書 の発行	新規 2020～2025 年度	御高町・可児市・ 八百津町・交通事業者
	次回乗車のための予約カードの発行	新規 2020～2025 年度	御高町・交通事業者
⑤利用者にも環境にも やさしい車両の導入	ノンステップバスの導入	継続 2020～2025 年度	御高町・交通事業者
⑥みたけファンと一体と なった利用促進施策 の実施	モデルダイヤ作成によるお出かけ シミュレーション	継続 2020～2025 年度	御高町・町民
	車内デコレーションやイベント時の 装飾	新規 2020～2025 年度	町民・御高町・ 交通事業者
	サロン運営者や民生委員と協力した 乗り方教室の実施	新規 2021～2025 年度	町民・御高町・ 交通事業者
	地域住民によるバス停環境の整備	新規 2020～2025 年度	町民・御高町

表 7-4 利用促進施策として行う具体的な取り組み

実施事業	実施内容	実施年度	実施主体
①利用者にとってわかりやすい交通情報の提供	時刻表・路線図の見直し・作成	新規 2020～2026 年度	御高町・町民・ 交通事業者
	公共交通情報の多言語化	新規 2021～2026 年度	御高町
	バスロケーションシステムの導入 (バス接近情報の提供)	新規 2022～2026 年度	御高町・交通事業者
	わかりやすいバス停名への変更	新規 2020～2026 年度	御高町・町民
	バス運行情報の GTFS 化	新規 2021～2026 年度	御高町・交通事業者
②多様な方法での公共交通情報の周知・広報	公共交通を利用したイベント等の 広報(町 Web サイト・広報など)	継続 2020～2026 年度	御高町・イベント主催者
	各種イベントポスター等への 公共交通情報の掲載	継続 2020～2026 年度	イベント主催者・御高町
	ケーブルテレビやコミュニティ FM での 公共交通情報の発信	新規 2021～2026 年度	御高町・放送事業者
	公共交通の利用状況の発信	継続 2020～2026 年度	御高町
③利用しやすい運賃の 支払い方法	ふれあいバス・ふれあい予約バスにお ける定期券・回数券の発行	継続 2020～2026 年度	御高町・交通事業者
	障がい者の運賃割引制度 (ふれあい予約バス)の継続運用	継続 2020～2026 年度	御高町・交通事業者
④公共交通の利用機 会の創出・増加につ ながる施策の実施	戦国武将のイラスト入り乗車証明書 の発行	新規 2020～2026 年度	御高町・可児市・ 八百津町・交通事業者
	次回乗車のための予約カードの発行	新規 2020～2026 年度	御高町・交通事業者
⑤利用者にも環境にも やさしい車両の導入	ノンステップバスの導入	継続 2020～2026 年度	御高町・交通事業者
⑥みたけファンと一体と なった利用促進施策 の実施	モデルダイヤ作成によるお出かけ シミュレーション	継続 2020～2026 年度	御高町・町民
	車内デコレーションやイベント時の 装飾	新規 2020～2026 年度	町民・御高町・ 交通事業者
	サロン運営者や民生委員と協力した 乗り方教室の実施	新規 2021～2026 年度	町民・御高町・ 交通事業者
	地域住民によるバス停環境の整備	新規 2020～2026 年度	町民・御高町

## 現行

実施事業	実施内容	実施年度	実施主体
⑦地域企業や各種団体と一体となった利用促進施策の実施	コンビニを活用したミーティングポイントの設置	新規 2020～2025 年度	御高町・商業施設・ 交通事業者
	バス車内での広告の掲載	継続 2020～2025 年度	御高町・地域企業・ 交通事業者
	バス停のネーミングライツ制度や 広告の掲載	新規 2020～2025 年度	御高町・地域企業・ 交通事業者
	ノーマイカー出勤の実施	継続 2020～2025 年度	御高町・地域企業

## 変更後

実施事業	実施内容	実施年度	実施主体
⑦地域企業や各種団体と一体となった利用促進施策の実施	コンビニを活用したミーティングポイントの設置	新規 2020～2026 年度	御高町・商業施設・ 交通事業者
	バス車内での広告の掲載	継続 2020～2026 年度	御高町・地域企業・ 交通事業者
	バス停のネーミングライツ制度や 広告の掲載	新規 2020～2026 年度	御高町・地域企業・ 交通事業者
	ノーマイカー出勤の実施	継続 2020～2026 年度	御高町・地域企業

# 現行

□事業準備(検討・協議を含む) ■事業実施(継続を含む)

実施予定年度						実施主体
2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
						交通事業者
						交通事業者・八百津町・御高町・可児市
						御高町・可児市・八百津町・岐阜県・交通事業者
						御高町・町民・可児市・交通事業者
						御高町・交通事業者
						交通事業者
						御高町・可児市・八百津町・交通事業者
						御高町・交通事業者・観光協会
						御高町・施設管理者
						御高町・施設管理者
						御高町・交通事業者
						御高町・町民・交通事業者
						御高町
						御高町・交通事業者
						御高町・町民
						御高町・交通事業者
						御高町・イベント主催者
						イベント主催者・御高町
						御高町・放送事業者
						御高町
						御高町・交通事業者
						御高町・交通事業者
						御高町・可児市・八百津町・交通事業者
						御高町・交通事業者
						御高町・交通事業者
						御高町・町民
						町民・御高町・交通事業者
						町民・御高町・交通事業者
						町民・御高町
						御高町・商業施設・交通事業者
						御高町・地域企業・交通事業者
						御高町・地域企業・交通事業者
						御高町・地域企業・町民
						名鉄広見線(新可児駅~御高駅)活性化協議会
						御高町・町民
						御高町地域公共交通会議

# 変更後

□事業準備(検討・協議を含む) ■事業実施(継続を含む)

実施予定年度						実施主体
2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025~2026年度	
						交通事業者
						交通事業者・八百津町・御高町・可児市
						御高町・可児市・八百津町・岐阜県・交通事業者
						御高町・町民・可児市・交通事業者
						御高町・交通事業者
						交通事業者
						御高町・可児市・八百津町・交通事業者
						御高町・交通事業者・観光協会
						御高町・施設管理者
						御高町・施設管理者
						御高町・交通事業者
						御高町・町民・交通事業者
						御高町
						御高町・交通事業者
						御高町・町民
						御高町・交通事業者
						御高町・イベント主催者
						イベント主催者・御高町
						御高町・放送事業者
						御高町
						御高町・交通事業者
						御高町・交通事業者
						御高町・可児市・八百津町・交通事業者
						御高町・交通事業者
						御高町・交通事業者
						御高町・町民
						町民・御高町・交通事業者
						町民・御高町・交通事業者
						町民・御高町
						御高町・商業施設・交通事業者
						御高町・地域企業・交通事業者
						御高町・地域企業・交通事業者
						御高町・地域企業・町民
						名鉄広見線(新可児駅~御高駅)活性化協議会
						御高町・町民
						御高町地域公共交通会議

## 8 計画の達成状況の評価に関する事項

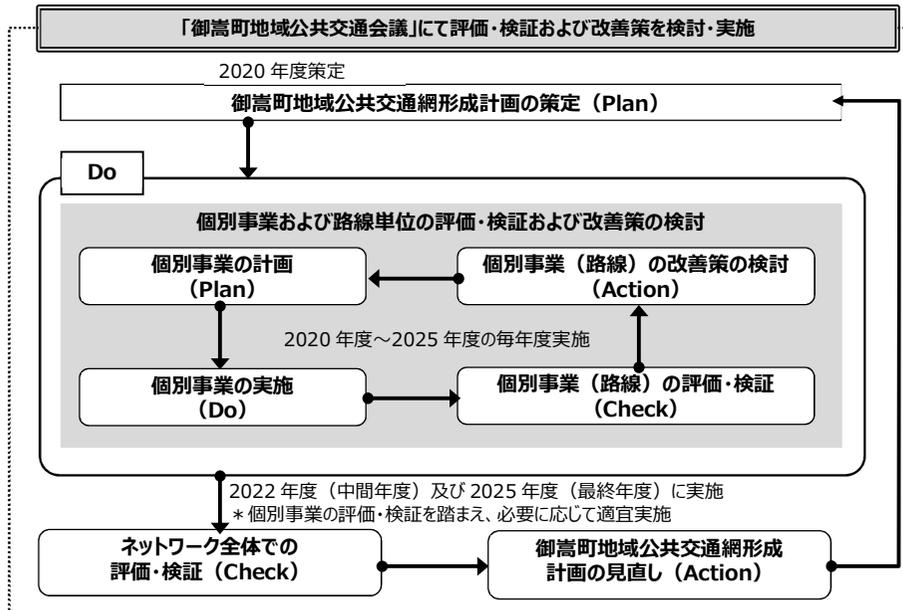
### (1) 評価・検証の考え方及びその手順

本計画は、計画の策定（P）、事業の実施（D）、評価・検証（C）、改善策の検討・計画の見直し（A）といったPDCAサイクルを毎年度実施することで効果的な事業の推進を図ります。また、計画に基づき実施した事業の効果や影響を総合的に捉え、計画目標の達成状況を評価・検証することで、計画期間最終年度に御嵩町地域公共交通網形成計画の見直しを実施します。

#### <評価・検証の考え方>

- 公共交通ネットワーク全体としては、計画期間の中間年度及び最終年度に御嵩町地域公共交通会議にて評価・検証および改善策の検討を実施することを基本としますが、毎年度実施する個別事業の評価・検証を踏まえ、必要に応じてネットワーク全体の評価を適宜実施するとともに、バス路線の見直し等を実施します。
- 個別事業については、毎年度、各事業主体と事務局が共同して、実施状況や目標値の達成状況を評価・検証するとともに、目標値を達成できていない場合の要因の分析を踏まえ、改善策を検討した上で、御嵩町地域公共交通会議へ諮ります。
- 町支出額に関しては、車両更新費等の外部条件は含まず、利用者数の増加や広告収入等の各主体の取組みによる増収により減少を目指すものとします。
- 目標年度の2025年度を最終年度として、2022年度の中間評価を踏まえ、必要に応じて御嵩町地域公共交通会議にて地域公共交通網形成計画の見直しを実施します。

図 8-1 公共交通ネットワークの評価・検証の流れ



## 8 計画の達成状況の評価に関する事項

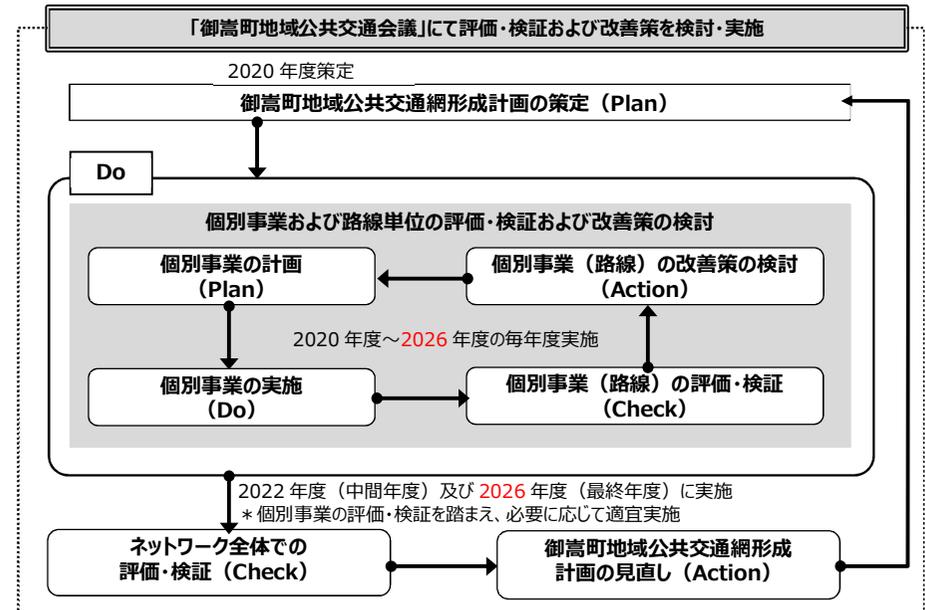
### (1) 評価・検証の考え方及びその手順

本計画は、計画の策定（P）、事業の実施（D）、評価・検証（C）、改善策の検討・計画の見直し（A）といったPDCAサイクルを毎年度実施することで効果的な事業の推進を図ります。また、計画に基づき実施した事業の効果や影響を総合的に捉え、計画目標の達成状況を評価・検証することで、計画期間最終年度に御嵩町地域公共交通網形成計画の見直しを実施します。

#### <評価・検証の考え方>

- 公共交通ネットワーク全体としては、計画期間の中間年度及び最終年度に御嵩町地域公共交通会議にて評価・検証および改善策の検討を実施することを基本としますが、毎年度実施する個別事業の評価・検証を踏まえ、必要に応じてネットワーク全体の評価を適宜実施するとともに、バス路線の見直し等を実施します。
- 個別事業については、毎年度、各事業主体と事務局が共同して、実施状況や目標値の達成状況を評価・検証するとともに、目標値を達成できていない場合の要因の分析を踏まえ、改善策を検討した上で、御嵩町地域公共交通会議へ諮ります。
- 町支出額に関しては、車両更新費等の外部条件は含まず、利用者数の増加や広告収入等の各主体の取組みによる増収により減少を目指すものとします。
- 目標年度の**2026**年度を最終年度として、2022年度の中間評価を踏まえ、必要に応じて御嵩町地域公共交通会議にて地域公共交通網形成計画の見直しを実施します。

図 8-1 公共交通ネットワークの評価・検証の流れ



## 現行

### (2)公共交通ネットワークの評価・検証

ネットワーク全体の評価・検証は、計画期間の最終年度（2025年度）に計画の目標で設定した基本方針別の目標について、目標値の達成状況を評価・検証します。

## 変更後

### (2)公共交通ネットワークの評価・検証

ネットワーク全体の評価・検証は、計画期間の最終年度（2026年度）に計画の目標で設定した基本方針別の目標について、目標値の達成状況を評価・検証します。

(3)個別事業および路線単位での評価・検証

個別事業の評価・検証は、「計画の目標を達成するために行う事業・実施主体」で定めた各種公共交通の利用促進施策等に対応して実施するものであり、効果的かつ効率的な事業実施となるよう、毎年度、各事業の実施主体と事務局が共同し、進捗状況を踏まえた上で個別事業の継続・見直しを検討します。

また、個別事業の実施に伴う各路線への効果と影響についても把握し、安全性や利便性に配慮した運行を確保するため、必要に応じて計画年度中での路線見直しについて、適宜、検討・実施します。

表 8-2 路線単位での評価指標・目標値

【評価指標】 鉄道駅別・バス等路線別の利用者数			
路線名		目標値[2025]	現況値[2019]
公共交通軸（鉄道）	御高駅	1,240 人	1,232 人/日
	御高口駅	270 人	261 人/日
	顔戸駅	190 人	181 人/日
	明智駅	940 人	937 人/日
広域交流路線	YAO バス	200 人/日	197 人/日
地域交流路線	ふれあいバス みたけ・なか線	30 人/日	26 人/日
	ふれあいバス 工業団地・南山台線	40 人/日	36 人/日
	さつきバス 兼山線	17 人/日	17 人/日
生活交流路線	ふれあい予約バス ふしみ線	30 人/日	21 人/日
	ふれあい予約バス かみのごう線	20 人/日	16 人/日
個別輸送	一般タクシー	50 人/日	49 人/日

- \* 1：YAO バス・さつきバス兼山線は交通事業者データより、利用者数を日換算
- \* 2：ふれあいバス・ふれあい予約バスは御高町データより、利用者数を日換算
- \* 3：タクシーは交通事業者データより、利用者数を日換算
- \* 4：目標値は公共交通全体の利用者数をトレンドで予測

(3)個別事業および路線単位での評価・検証

個別事業の評価・検証は、「計画の目標を達成するために行う事業・実施主体」で定めた各種公共交通の利用促進施策等に対応して実施するものであり、効果的かつ効率的な事業実施となるよう、毎年度、各事業の実施主体と事務局が共同し、進捗状況を踏まえた上で個別事業の継続・見直しを検討します。

また、個別事業の実施に伴う各路線への効果と影響についても把握し、安全性や利便性に配慮した運行を確保するため、必要に応じて計画年度中での路線見直しについて、適宜、検討・実施します。

表 8-2 路線単位での評価指標・目標値

【評価指標】 鉄道駅別・バス等路線別の利用者数			
路線名		目標値[2026]	現況値[2019]
公共交通軸（鉄道）	御高駅	1,240 人	1,232 人/日
	御高口駅	270 人	261 人/日
	顔戸駅	190 人	181 人/日
	明智駅	940 人	937 人/日
広域交流路線	YAO バス	200 人/日	197 人/日
地域交流路線	ふれあいバス みたけ・なか線	30 人/日	26 人/日
	ふれあいバス 工業団地・南山台線	40 人/日	36 人/日
	さつきバス 兼山線	17 人/日	17 人/日
生活交流路線	ふれあい予約バス ふしみ線	30 人/日	21 人/日
	ふれあい予約バス かみのごう線	20 人/日	16 人/日
個別輸送	一般タクシー	50 人/日	49 人/日

- \* 1：YAO バス・さつきバス兼山線は交通事業者データより、利用者数を日換算
- \* 2：ふれあいバス・ふれあい予約バスは御高町データより、利用者数を日換算
- \* 3：タクシーは交通事業者データより、利用者数を日換算
- \* 4：目標値は公共交通全体の利用者数をトレンドで予測